

FITS 探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team

令和5年
6月1日
(木)
No.21

効果的なファシリテートのあり方 —児童・生徒の主体的な学びの創造—

令和5年5月18日(木)に、広島大学名誉教授 朝倉 淳 様に来校していただき、「効果的なファシリテートのあり方—児童・生徒の主体的な学びの創造—」という題で、講話をしていただきました。今年度の重点課題の一つである「主体性、協働性を引き出す教職員のファシリテートを工夫する。」は、探究的な学習の研究を進める中で、教職員の中から出てきた課題です。「どのように児童・生徒と関わるのがよいファシリテートののだろうか?」「このような関わり方では、児童・生徒の主体性、協働性を損ねてしまうのではないか?」など、ハッキリとした正解がないので、困り感だけが増えていきました。



講話では、朝倉教授がファシリテートについて具体例を交えながら、分かりやすく説明してくださいました。今年度の探究的な学習で、ぜひ実践していきましょう!

①主体的な学びの意義は?

人間は本来主体的に学ぶようにできている。個性的で、一人では生きられない存在。多様性(20人いたら、20人みんな違う)があるから、社会が成立している。だから、助け合い、支えあいが必要。現在は変化の激しい社会(人生の初期の社会とその後の社会は大きく異なる。)であり、新しい課題(生成AIなど)が出てきている。主体的に学ぶことは、児童・生徒にとってもそうだが、私たちにとっても課題である。主体的な学びで自ら課題について考え、考えることで思考力などが伸びる。ファシリテーターは、子どもが自分で考えることを妨げない。主体的に考え、表現することを見守り、支援し、促進する。教師が「なんとかしないと!」とはりきると、児童・生徒の主体性が損なわれてしまう。

②子どもと教師の授業観!?

主体的な学びで、授業観がどう変わるか?

子どもの授業観 先生が何かを教えてくれる → 自分が□□を学ぶ(課題・目的意識, ゴール)

大人・教師の授業観 子どもたちに□□を教える → 子どもたち一人一人が□□・○○を学ぶ

※□□は意図されたこと, ○○はそれに付随した別のこと。これが生まれる授業がよい授業!

では、教師は何をするのか?

計画, 機会の構成, 活動の支援, 調整, 見守り, 意味付け, 価値付け, 評価, 環境構成(掲示物)…そして、子どもの学びを促進, つまりファシリテート!(説明, 発問, 提案, (指示))
※ダイレクトに教える機会がなくなるわけではない。場合によっては必要である。

③授業づくりの要点は?

ヒントは幼児の遊びの中にある。

幼児の遊び ≡ 主体的な学び・自由で自発的な営み・楽しさ・繰り返し



○授業で主体性が発揮される時

- めあて, 問いの意味, 意義がわかる。
→例えば, 実生活・実社会とつながる。(役に立つ, 関連付く, 憧れ, 喜び, 美しさ…)
- 自分で決める内容や方法がある。 • 過程や結果が尊重される。
- 主体的に学ぶイメージやよさを児童・生徒自身が感じ取る。
→卒業後も自分自身で学んでいくことができる。

○惜しい授業のいろいろ

- めあてが実現した後の展望がない。 • めあての後で, 手順1, 手順2と順に進む。
- 考える場面で, 思考ツールを使用するよう指示される。
- 「どうですか?」「いいです。」「分かりましたか?」「分かりました!」
返事をすることに意識があり, 本当に分かっているか分からない。

○「分かったつもり」が危ない

「分かったつもり」になると, それ以上の探究, 粘り強い取組は行われない。

→「常識」や「当たり前」を問う必要がある。

教師の切り返し例 本当にそうかなあ? 大丈夫かなあ? これでいいのかなあ?
もし~でなかったらどうかなあ? どうしたらもっと…なのかなあ?

④ファシリテートの具体

○子どもに対する教師の関わりのイメージ

引っ張る, 後押しする, 前を歩く, 後ろを歩く, 共に歩く, 前から見守る, 後ろから見守る

→引っ張る以外はファシリテートである。普段の教育活動でも実践しているのでは?

○ファシリテート(F)とティーチング(T)

「先生, ○○って何ですか?」

T: ○○は, □□□□です。
T: ○○については, 知りません。
F: どうしたら分かりそうかなあ?
F: 誰が知っていそうかなあ?

「先生, ○○してもいいですか?」

T: ○○していいです。or いけません。
F: どうして○○したいのかな?
F: どんなことが心配なのかなあ?
F: どうしたらよさそうかなあ?

「先生, AとBとどちらを先に言えばよいか分かりません。」

T: Bが先がいいです。なぜなら~。
F: 何に困っているのかな?
F: だれが聞くのかな?
F: 聞く人にどう思ってもらいたいのかな?

令和5年度ルーブリック決定 & 各教科とのつながり

	協働性	レベル	主体性	
責任	役割をもち、最後までやり抜こうとしている。	1	課題について、自分の意見を持ち、前向きに取り組もうとしている。	肯定的思考
+共感	他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感しようとしている。	2	目的をもって学習に取り組もうとしている。	+目的意識
+メタ認知	他者の意見と自分の意見を比較し、よりよい考えを選択しながら課題解決に取り組もうとしている。	3	課題解決に向けて、見通しをもち、自分で目標を立てながら学習に取り組もうとしている。	+見通し
+特徴の活用	自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組もうとしている。	4	課題解決に向けて、自らさまざまな視点で考えようとしている。	+広い視野
+合意形成	議論をすることによって、合意形成を図ろうとしている。	5	設定した仮説に関する情報を自ら進んで収集し、結論を導き出そうとしている。	+思考の手順

資質・能力カード



令和5年度の福富小・中が目指す資質・能力が決定しました。資質・能力の段階ではなく、レベルで分けた昨年度から、**大きな変更はありません**。(レベル3の協働性、赤字の部分のみ変更。昨年度は「自分の意見を客観的に捉え」でした。) 6月に入り、探究的な学習も本格的にスタートします。この資質・能力が育成できるように、授業を展開していきましょう。

そして、今年度から新たな取組として、探究的な学習で使用していた「資質・能力を児童・生徒に示すカード」を、各教科でも使用していこうと考えています。**探究的な学習と各教科を資質・能力の視点から関連付ける**という目的で行います。積極的な活用をよろしくお願いいたします。

これからの予定

- 6月 7日 (金) 教職員アンケート〆切
※Google Forms で入力です。
- 6月 12日 (月) 中3年生
研究授業 (7/3) 指導案完成
- 6月 15日 (木) 小5・6年生
研究授業 (6/29) 指導案完成
- 6月 29日 (木) 研究授業 (小5・6年生)
全体 長野指導主事来校
小1・2年生
研究授業 (7/13) 指導案完成
- 7月 3日 (月) 研究授業 (中3年生)
全体 花岡指導主事来校
長野指導主事来校

先達の言葉

善きことはカタツムリの
速度で動く。

マハトマ・ガンディー(インド弁護士・社会運動家)
探究的な学習では、なかなか児童・生徒の思考が先に進まずに、焦ってしまうことがあります。授業時間も限られているのですが、教師が引っ張ってしまっは、せつかくの思考力育成の機会を奪ってしまうことになります。教えていただいたファシリテートの手法を生かして、共に歩いていきましょう。(カタツムリの速度：48m/h)